

調査概要

- 調査テーマ:婚活中の男女の「国際結婚」に関する意識調査
- サンプリング方法:ポータルサイト「livedoor」の結婚紹介サイト「youbride」会員男女を抽出
- 有効回答数:278 サンプル(男性:122 件、女性 156 件)

	20代	30代	40代	50代以上
男性	13.11%	36.89%	42.62%	7.38%
女性	17.31%	54.49%	25.00%	3.20%

- 調査期間:2011年9月2日～2011年9月5日
- 調査地域:全国
- 調査手法:インターネット調査
- 調査目的:国際結婚が定着し、震災の影響で海外へ目を向ける人が多くなっている今、婚活中男女の国際結婚への意識を調査することで、社会全体で結婚を応援できる環境づくりの一助となることを目指すものです。
- 実施団体:株式会社ライブドア
- 調査実施機関:株式会社ライブドア「youbride」

■調査ハイライト

全体的に男女とも国際結婚へは意欲的な傾向があることがわかりました。年代別に見てみると 20代は「憧れ」から国際結婚を支持し、バブル世代である 40代後半男性も国際結婚に肯定的で、最も外国人女性とお付き合いしたことがある経験が豊富であるというデータと、恐らく仕事でグローバルな経験を経てきている方々が他の世代と比べて多いので、「国籍は関係ない」と余裕な回答をしています。一方で 30代は一番現実的に結婚を考えているせいか、他の世代よりも国際結婚に対して消極的であることがわかりました。

具体的に結婚したい国籍を問うと、男性は外見への憧れから「白人女性」を支持し、女性は愛の表現力が豊かなイタリアや韓国の男性を好んでいることがわかりました。

男女共に、国際結婚に対して「価値観の違い」「語学力の向上」を求めていることがわかりました。不安に思っていることとしては、「生活習慣」「語学力」という現実的な問題を気にしているようです。

また、出会いの場として「マッチングサイト」を利用しており、オンラインで出会うことに対し、男女共に以前より、抵抗がなくなっていることがわかりました。

さらに、「フランスの結婚観」「韓国の結婚観」「一夫多妻制度」についても婚活中男女の意識調査を行なっています。

【厚生労働省「夫妻の国籍別にみた婚姻件数の年次推移」より】

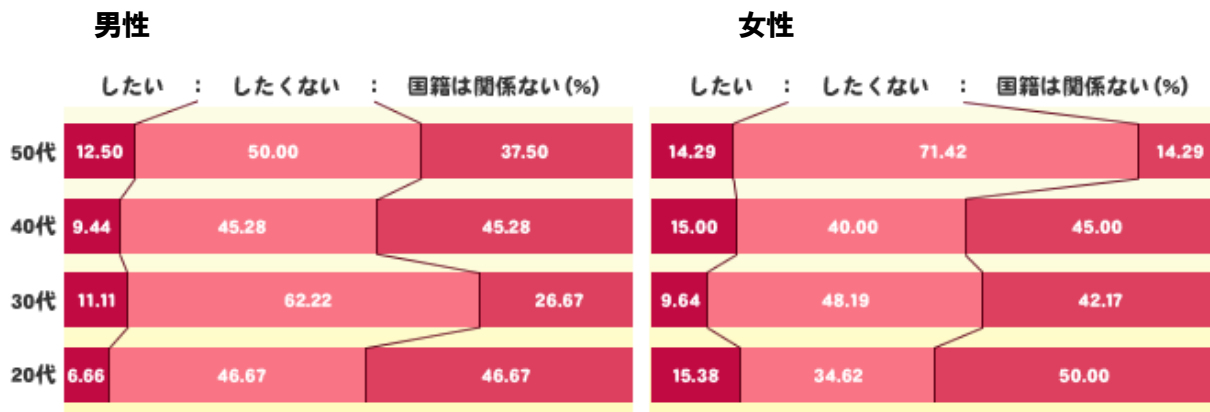
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii09/marr2.html>

昭和 55 年 (31 年前) は、国際結婚をする人が全体の 1%だったのに対し、平成 12 年 (9 年前) から 5%まで上昇しています。現在に至るまでの約 10 年間、国際結婚の割合は 5%～6%と定着しており、国際結婚は、“一般的”なこととして捉えられつつあります。そんな社会背景の中で現在婚活中の男女は、外国人と

結婚することに対し、どのような意識を持っているのかを調査しています。

1

■国際結婚をしたいと思いますか？



【結果】

男女共に国際結婚に積極的（したい+国籍は関係ない）です。男性（20代 53.33%、40代 54.72%、50代 50%）女性（20代 65.38%、30代 51.81%、40代 60%）と過半数を超えている世代が多いです。その一方で、男性30代は、37.78%と国際結婚に消極的。女性30代は、51.81%と過半数を超えているものの、20代40代と比べると低め。結婚を一番現実的に捉えている30代だからこそ、非現実的な感じのする国際結婚に消極的と言えます。20代は、男女共に国際結婚へは積極的です。日本人以外とほとんどの人が付き合ったことがないと回答しているのにも関わらず、男性 53.33%、女性 65.38%が国際結婚に対して意欲的。このことから国際結婚へ「憧れ」を抱いていることがわかりました。

さらにこのデータの中でとりわけ興味深いデータが出ました。40代後半男性にしぼって分析すると国籍は関係ない66.67%、したい8.33%を合計すると75%が国際結婚前向きに考えています。最も外国人とお付き合いしたことがある経験が豊富であるデータと、恐らく社会でグローバルな経験を経てきている方々が他の世代と比べて多いので、国籍に捉われないパートナー選びをできる余裕があると言えます。

2

■具体的に付き合ってみたい国を教えてください。

【結果】

男性は、外見的憧れから白人系を支持する傾向があることがわかりました。たとえば「白人女性の容姿に憧れを持っているのでスウェーデン、フィンランド、ノルウェー、ロシア、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの女性とお付き合いしてみたいです」（34歳）、「白人女性は美しいから、フランスやルーマニアなどの女性がいいですね」（23歳）といったような声が多く集まりました。

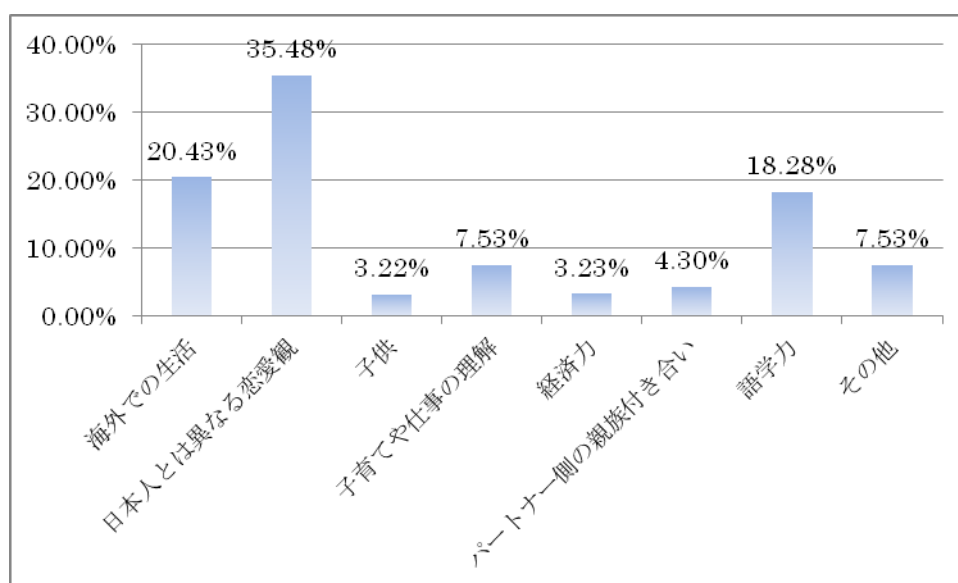
一方女性は、日本人男性が苦手としている愛の表現をきちんとしてくれそうな国籍の男性を好む傾

向があります。「とてもやさしくされた経験があるので、フランス、イタリア、カナダの男性が良いです」(20歳)、「ジェントルマンで女性を大切にしてくれそうなアメリカ、オーストラリア、韓国、スイス、フランス、イタリア男性が気になります」(31歳)などと、精神的欲求を満たしてくれそうな国を支持しています。

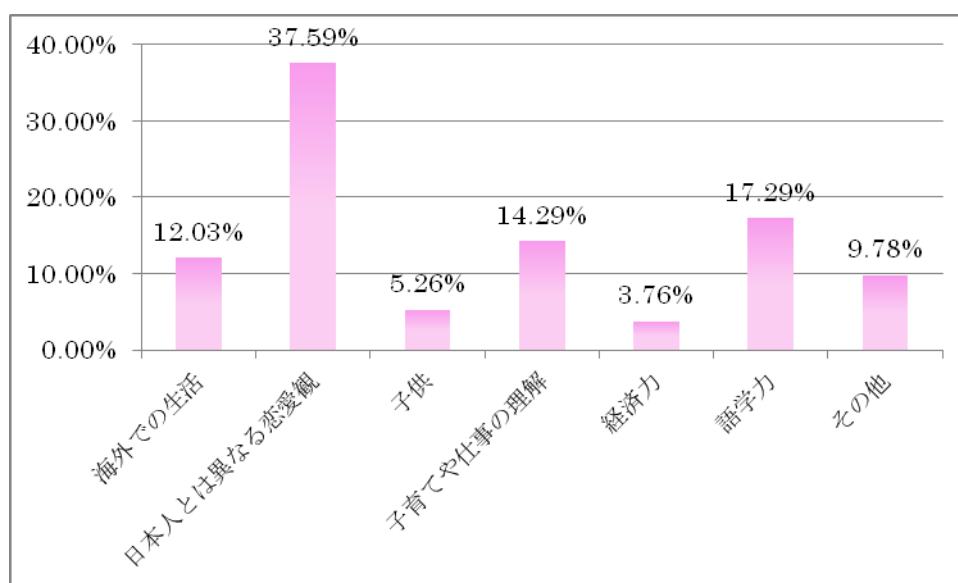
3

■国際結婚に対して何を期待していますか？

男性



女性



【結果】

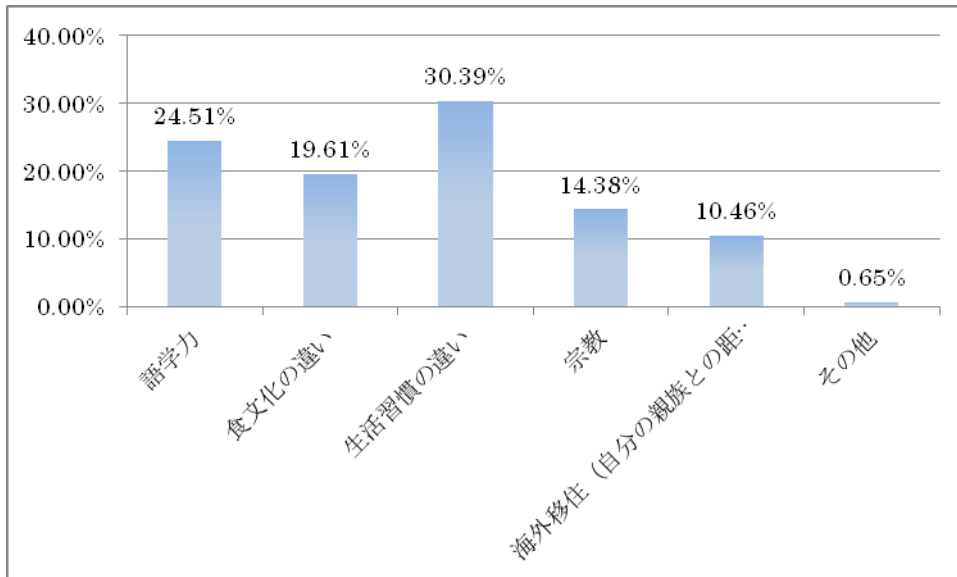
男女共に1位は「日本人とは異なる恋愛観」。外国人と付き合うからこそ経験できる、価値観の違いを楽しみたいようです。また、日本人の勤勉さが読み取れたのは、男性3位、女性2位の「語学力」。お付き合い

を通して「語学力」を身につけたいと望んでいる人が多いことがわかりました。

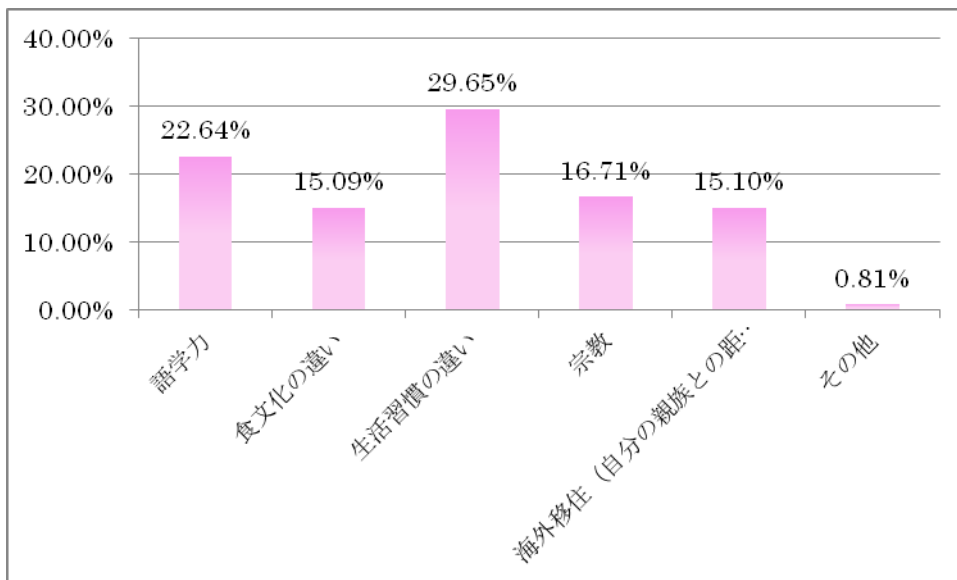
4

■国際結婚は何がネックになると思いますか？

男性



女性

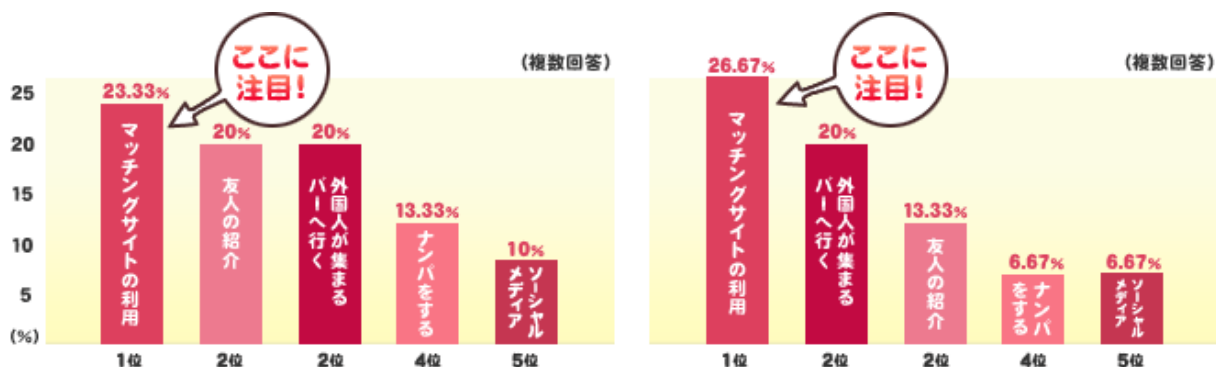


【結果】

男女共に1位は「生活習慣の違い」となり、日々の生活を送る中で相手と共有できない点から感じるストレスを心配しているようです。英語が苦手とされている日本人なので、「語学力」の心配も男女共に2位となりました。スムーズにコミュニケーションがとれなければ、結婚生活に支障が出る、現実的な不安を感じていることも結果となりあらわれました。

5

■国際結婚を実現させるために具体的にどのようなアクションを起こしましたか？



【結果】

男女共に1位は「外国人と出会うことができるマッチングサイトの利用」で、積極的にマッチングサイトを使っていることがわかりました。以前は、オンラインで出会うことに抵抗がある人もいましたが、現在では抵抗がなくなっているようです。

6

■フランスでは、結婚より緩やかな法的関係「PACS」（パックス／連帯市民協約）を選ぶカップルなど「結婚」によるむずびつきをあまり求めない人たちが多く傾向にあります。フランスのような「結婚」に対する価値観をどのように感じますか？

男女共にポジティブな意見として「特に違和感はありません。固定概念に捉われないのは良いことだと思いますので」（男性35歳）、「これからの新しい価値観として認められそう」（男性34歳）「柔軟な考え方で良いと思います。お互いの関係がきちんとしていれば問題なし！」（女性26歳）、「結婚という枠にとらわれなくていい」（女性30歳）などと、新しい価値を受け入れる意見が多数集まりました。

一方で、「中途半端な関係だと思う。お互いの関係がルーズになってしまいそう。きちんとけじめをつけた結婚という形をとりたいです」（28歳男性）、「けじめがつけられないように感じますし、子供が生まれたら可哀想な気がします」（37歳女性）という「けじめ」を気にする人も目立ちました。

7

■韓国では、さまざまな伝統行事があり、とりわけ長男の嫁が大変とされています。多くの女性が恐れている旧正月では、祭祀(チェサ)の料理の準備やギフト、お年玉など金銭的な負担に加え家事、嫁姑問題があるそう。男性も二人の間を取り持つなど気を遣うことがありそうです。パートナーとの問題だけでない韓国のような「結婚」をどう感じますか？

「日本でも同じような問題が残っている」と回答した人が多数いました。たとえば「韓国に限らず日本でも似たような問題が残っていると思います。自分の実家も似ていますし。もしかするとそれが独身の原因かもしれないが」（男性42歳）、「特に日本でも地方では、強く韓国と同等な問題が残っていると思う」（女性39歳）などという声があがりました。一方で若い世代では、「女性の社会進出が進んで、嫁姑問題は昔に比べるとだいぶフラクになってきているのかなと思います」（女性24歳）とい

う変化が起きている声もありました。

さらに多くの男女が韓国のようなパートナーとの問題だけでない韓国の結婚を「望まない」と回答しました。「重たいと感じます。昔ながらの伝統が言いとばかりは言えないので」(女性 29 歳)、「時代に合っていないと思います」(男性 30 歳) という今の空気感と合っていないことを指摘しています。

8

■バリやインドネシアで認められている一夫多妻制の「結婚制度」についてどう考えますか？

男性は、「うらやましいけれども、経済的に難しい」(男性 39 歳)、「奥さんが納得すれば問題ないと思います。愛人関係で、もめるくらいなら一夫多妻制のほうがいいです」(男性 36 歳)、「正直うらやましいです。たくさんの女性と同時にお付き合いできるなんて男からしたら幸せすぎます」(男性 28 歳) などという一夫多妻制の制度に対して積極的な意見が集まりました。一方、女性は「誰かと一夜一緒にいてすぐまた自分と一夜を共にすると思うと気持ちが悪いです」(女性 33 歳)、「ひとりだけを愛して欲しい」(女性 36 歳) と反対派の声が多く集まりました。少数でしたが、一夫多妻制賛成派の女性は、「毎月 100 万円くれて一生食いつぶしが無いなら良い制度かも」(女性 49 歳)、「多夫一妻もありなら、一夫多妻制も OK です」(女性 51 歳) とユニークな回答もありました。

■婚活サイト「youbride」について：<http://youbride.jp/>

「youbride」は、1999 年からサービス提供を開始し、今年で 12 周年を迎える信頼と実績のあるオンライン結婚紹介サイトです。会員数はサービス開始から累計で約 60 万人、月間利用者は約 5 万人に上ります。この中でパートナーを見つけられた方は、年間 1500 組という高いマッチング率を誇っています。PC と携帯の両方からアクセスでき、いつでもどこでも運命のお相手を探したり、気になる方と連絡を取ることができます。男女とも入会金は無料。会費が無料の「ライトプラン」は、連絡を取りあう相手が見つかったときにチケット(1,050 円)での支払い。またよりお得に使える定額料金支払い制の「バリュープラン」があり、利用ペースに合わせて料金プランを選ぶことができます。サイト内のメッセージ機能があり、直接連絡先を交換しなくても相手とメール交換が可能。24 時間充実のサポート体制で、安心してリーズナブルにサービスをご利用いただくことができます。

■株式会社ライブドア：<http://corp.livedoor.com/>

2003 年に開始した総合ポータルサイトで、livedoor ID 保有者は 960 万人以上、月間ユニークユーザー数は約 3600 万人(2011 年 6 月時点、コムスコア調べ)。主なサービスの一つである「livedoor Blog」の開設者数は約 440 万人(2011 年 7 月現在)で、国内最大級の情報発信力を誇るユーザー参加型メディアです。ポータル全体のユーザープロフィールは、男性 57%・女性 43%、大卒以上が 50%(2010Netratings 社)。また、livedoor ユーザーの多くは、デジタルネイティブ世代の代表である「ブロガー」で、自分のメディアを持ち、積極的に情報を発信しています。

■関連 URL

ポータルサイト「livedoor」：<http://www.livedoor.com/>